

朝の館内放送

令和4年8月1日

おはようございます、市長の中村健です。

最近、特に市外にお住まいの方から、「西尾市、盛り上がっているね」「西尾市、活気があるね」というご意見をいただく機会が増えました。

その言葉が示す内容については、その人その人で異なるのですが、その要因を分析すると一つの傾向がうかがえます。

それは、新しい力、若い力がまちづくりに活かされ、それが結果として好印象を与えているということです。

価値観が多様化し、不確実性が高く、変化の速い昨今においては、これまでのやり方が通用せず、じり貧状態で苦境に陥っている分野がたくさんあります。

そのような時に、事態を打開する処方箋の一つが、新しい力、とりわけ若い力を取り入れ、組織・団体としての新陳代謝を図ることができるか否かであると、様々な事例を見てきて率直に感じます。

私たちが所属する西尾市という行政組織においては、退職する職員と採用される職員が毎年一定数いることにより、一定のペースで新陳代謝が働きます。

しかし、それだけでは時代の変化に十分対応できない場合も少なからずあり、プラスアルファの意識と取り組みが必要となります。

今回の文脈で言えば、新たなアプローチによる取り組みをいかにして形にしていけるか、また、現場に近く時代の変化にも機敏に対応しやすい年代である、若手・中堅職員の感性をいかに吸い上げていけるかということだと思えます。

そのために必要なことは、市のため、市民のためという目的を共有した上で、若手・中堅職員の皆さんが自信を持って想いを形にできるよう率先して行動を起こすことと、上司となる職員が物事に対する柔軟な姿勢と広い度量を持つことだと考えています。

西尾のまちづくりで起こっている良い循環を途絶えさせることなく、行政としてももしっかり下支えできるよう、我々の組織も変わっていかなければなりません。

一人ひとりの協力を改めてお願いし、朝の館内放送を終わります。